

令和6年

第4回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和6年4月19日開催

猪苗代町農業委員会

令和6年第4回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和6年4月19日（金） 午後4時00分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

農業委員

1 番 渡 部 誠	2 番 小 檜 山 浩 子	3 番 大 月 喜 裕
4 番 高 橋 二三雄	5 番 鈴 木 範 政	6 番 鈴 木 正 晃
7 番 遠 藤 正 浩	8 番 丸 山 之 子	9 番 二 瓶 公 司
10 番 浦 大 輔	11 番 安 達 壽 人	12 番 土 屋 勇 雄

農地利用最適化推進委員

14 番 氏 田 泰 昭	15 番 関 和 慎 一	16 番 岸 本 恵里子
17 番 古 川 昭 一	18 番 相 馬 裕 幸	19 番 鵜 浦 正 俊
20 番 小 檜 山 正 次	21 番 桑 原 富 男	

4. 事務局 局長 渡 部 克 宏 係長 土 屋 和 則 主事 渡 部 善 和

(開議時間：午後4時00分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和6年 第4回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、4月1日告示し、同日付で、農業委員及び農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、

出席委員12名、全員出席であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、

出席委員9名、欠席委員3名、うち届出欠席3名であります。

欠席委員は、22番 神 庄也 委員、23番 長谷川 竹司 委員、24番 小檜山 慶一郎 委員であります。

委員の皆様に申し上げます。

各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、

4番 高橋 二三雄 委員

10番 浦 大輔 委員の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第 5号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

議案第13号 農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第14号 農地法第5条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第15号 農地法第5条の規定による許可申請について（使用貸借権設定）

議案第16号 農用地利用集積計画の決定について

議案第17号 農用地利用集積等促進計画（案）の意見について

議案第18号 令和6年度最適化活動の目標設定について

以上、7件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第5号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

報告第5号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明いたします。

この報告は、農地の貸借契約を解約した旨、貸借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

議案書の2頁をご覧ください。

No.1の貸付人は福島県農業振興公社、借受人は〇〇の農業組合法人〇〇 代表理事 〇〇〇〇で、解約理由は、耕作者を変更するためであります。

No.2の貸付人は〇〇の〇〇 〇〇、借受人は〇〇の〇〇 〇〇で、解約理由は農地を返還するためであります。

No.3の貸付人は福島県農業振興公社、借受人は〇〇の〇〇 〇〇で、解約理由は耕作者を変更するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては議案書記載のとおりであります。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件につきましても報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので以上で報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第13号「農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）」を

議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

議案第13号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。
この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

議案書の4頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は〇〇の〇〇 〇〇で畑1筆811㎡を10a当たり30,000円で売買、

No.2の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は〇〇の〇〇 〇〇で田6筆13,800㎡を無償で贈与、するものであります。

議案説明資料の3・4・5・6頁が、申請地の位置図となっておりますので、併せてご覧願

ます。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。
以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります19番 鵜浦 正俊 推進委員に報告を求めます。

○19番（鵜浦 正俊 農業委員）

No.1について、令和6年4月14日、申請人 ○○ ○○ 氏の自宅を訪問し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請は親子間での申請で譲受人の父である譲渡人 ○○ ○○ 氏が生前に農地を処分したいとの意向により、子である ○○ 氏へ売買により所有権移転する運びとなったものであります。

また、権利取得後は野菜を作付する予定であります。

申請に対する調査の結果としましては 譲受人 は、農業に従事することができると共に、農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

No.1の報告が終わりました。当地区の担当委員は私ですが、私から特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

○11番（安達壽人 委員）

確認したいのですが、譲受人の○○ ○○さんは、住所は○○市になっていますので実際に猪苗代には住んでいらっしやらないということかと思えます。土地はお父さんから息子さんに売るけれども、実際の作業はお父さんが続けるということですか。

○事務局（渡部 主事）

ご質問にありましたとおり、〇〇 〇〇さんは令和5年に〇〇市に転出されておりますが、申請書では年間50日以上農作業に従事することになっております。作付けする作物については水稻ではなく畑ということで世帯は違いますがお父さんの部分も農作業に従事することを加味しまして申請を受理しました。あわせて経営状況がゼロとなっておりますが、世帯ごとに見る台帳からの記載ですので、転出した時点で世帯が分かれてしまうため、このような記載となります。

○11番（安達壽人 委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、質問、意見等ございませんか。

ないようですので、審議を打ち切り、採決を行います。

議案第13号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第13号のNo.1は、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、No.2の調査員であります19番 鵜浦 正俊 推進委員に報告を求めます。

○19番（鵜浦 正俊 農業委員）

No. 2について、令和6年4月7日、申請人 〇〇 〇〇 氏の自宅を訪問し、調査書に基づく調査を実施したので、報告します。

本申請の譲渡人 〇〇 〇〇 氏は相続により本申請農地を取得しましたが、生前に所有農地を処分したいとの意向で、譲受人 〇〇 〇〇 氏へ贈与により所有権移転する運びとなったものであります。

また、権利取得後は水稻を作付する予定であります。

申請に対する調査の結果としましては 譲受人は、農業に常時従事することができると共に、農機具の保有状況や周辺地域との調和要件等から適切に農地の維持管理ができ、許可の要件を満たしていると思われますので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

No. 2の報告が終わりました。当地区の担当委員は私ですが、私からの補足説明は特にありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で調査報告が終わりましたので、No.2の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、審議を打ち切り、採決を行います。
議案第13号のNo.2について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第13号のNo.2は、申請のとおり許可することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第14号「農地法第5条の規定による許可申請について」（所有権移転）を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

議案第14号「農地法第5条の規定による許可申請について」（所有権移転）について説明いたします。

この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

6頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人は〇〇の〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇であり、申請地は大字〇〇字〇〇〇〇 田 1筆 1,127 m² 及び 田 1筆 54 m²で、合計1,181 m²であります。

申請事由としましては、譲受人は町内で土木工事業を営む会社で、現在の建築資材・作業車両置場としている土地が〇〇跡地であることから〇〇から移転を指導されており、新たに譲渡人から資材置場として買い受けて利用するものであります。

議案説明資料の7・8・9・10頁が、申請地の位置図、公図、土地利用計画図、申請概要となっておりますので、併せてご覧願います。

この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に、調査書に基づく調査と現地調査への立会いをお願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります5番 鈴木 範政 農業委員に報告を求めます。

○5番（鈴木 範政 農業委員）

議案第14号のNo.1について、4月10日午後1時30分、私と、相馬 裕幸 推進委員、申請者代理人として行政書士法人〇〇事務所担当者1名、町農業委員会事務局職員2名立会いのもと、現地調査を実施しました。

本案件の転用の目的は、先程事務局より説明があった通りで、申請地は、〇〇地区の〇〇神社の北側に位置しております。

申請地は、都市計画法の用途地域内です。

譲受人は、町内で土木工事業を営む会社で、現在の建築資材・作業車両置場としている土地から移転を予定しており、新たな資材置場として〇〇在住の譲渡人から買い受けて利用するものであります。転用に当たっては、土盛りは必要最小限とし、土留工事やフェンス設置工事を行うため、周辺農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われます。

以上の内容から転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

ここで、調査報告の補足を求めます。

18番 相馬 裕幸 推進委員に申し上げます。

ただいまの調査報告に補足があればお願いします。

○18番（相馬 裕幸 農業委員）

補足はありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。

調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、審議を打ち切り、採決を行います。

議案第14号について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第14号については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第15号「農地法第5条の規定による許可申請について（使用貸借権設定）を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

議案第15号「農地法第5条の規定による許可申請（貸借権設定）について」説明いたします。

この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

8頁をご覧ください。

No.1の貸付人は、〇〇の〇〇 〇〇、借受人が、同じく〇〇の〇〇 〇〇で、申請地は、字〇〇〇〇 畑 1筆 263㎡であります。

申請事由としましては、借受人の事業拡大により、既存の作業所・倉庫から近い場所に新たな農業用倉庫を建築するため、貸付人の所有する農地を借り受けるものであります。

議案説明資料の11・12・13・14頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図、申請概要となっておりますので、併せてご覧願います。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査書に基づく調査と、現地調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、調査員であります 1番 渡部 誠 農業委員に報告を求めます。

○1番（渡部 誠 農業委員）

議案第15号のNo.1について、4月10日午後2時、私と、笹岡正人推進委員、申請者代理人として行政書士法人〇〇事務所担当者1名、町農業委員会事務局職員2名立会いのもと、現地調査を実施しました。

本案件の転用の目的は、先程事務局より説明があった通りで、申請地は、〇〇地区の〇〇〇〇の北東側に位置しております。

申請地は、都市計画法の用途地域内です。

貸付人と借受人は親子であり、町内で農業を営んでおりますが、事業拡大に伴い、既存の倉庫・作業所から近接する土地へ新たな農業用倉庫を建築するために使用貸借権を設定するものであります。転用に当たっては、土盛りは必要最小限とし、土留工事を行うため、周辺農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われま。

以上の内容から転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

13番 笹岡 正人 推進委員に申し上げます。
ただいまの調査報告に補足があればお願いします。

○13番（笹岡 正人 農業委員）

特にございません。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で調査報告が終わりましたので、審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第15号について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第15号については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第16号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

議案第16号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするものであります。

10頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

なお、貸手及び借手、筆数、面積のみ読み上げさせていただきますので、契約期間及び10a当たり賃借料等につきましては、議案書にてご確認願います。

NO.1は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に畑3筆1,434㎡を

NO.2は、〇〇の〇〇法定相続人 〇〇 外4名 が〇〇の〇〇 に田7筆14,350㎡を

NO.3は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に田4筆13,080㎡を

№.4 は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に田1筆 3,370 m²を
№.5 は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に田1筆 544 m²を
№.6 は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に田1筆 7,559 m²を
№.7 は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に田9筆 29,859 m²を
№.8 は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に田1筆 2,927 m²を
それぞれ貸し付けるものであります。

次に13頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社買入れ分であります。

№.1 の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇 であり、大字〇〇字〇〇〇〇 田 1筆 9,929 m²を
10a 当たり 500,000 円で
公社が買入れるものであります。

次に14頁をご覧ください。

農地中間管理事業の機構借入れ分であります。

№.1 は、〇〇の〇〇 〇〇 が〇〇の〇〇 〇〇 に 畑5筆 期間10年無償
で

公社が借受け、借受者に貸し付けるものであります。

次に、15頁は、これと同じ内容の機構貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」に
基づき、利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に調査票に基づく調査をお願い
し、また公社売買の所有権移転案件については、担当地区の農業委員及び推進委員の方に、農用
地利用調整会議への立会いをお願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

○4番（高橋二三雄 委員）

№.2 の〇〇の〇〇さんは相続完了という認識でよろしいでしょうか。相続人足りうる人が契
約することですか。

○事務局（渡部 主事）

№.2 の〇〇の〇〇〇〇ほか4名は、相続登記されていない所有者ですが法定相続人というこ

とで息子さんであったり配偶者を含め法定の持ち分の方々の合意があつての契約となっています。持ち分の過半の合意があれば賃貸借契約を締結でき、それに沿った契約となっています。

○4番（高橋二三雄 委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、質問、意見等ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、審議を打ち切り、採決を行います。

議案16号について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第16号については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第17号「農用地利用集積等促進計画（案）の意見について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

議案第17号「農用地利用集積等促進計画（案）の意見について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の意見を求められたので審議をお願いするものであります。

17頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社貸付（再転貸分）であります。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇に 田 4筆 畑1筆 1,440 m²を 期間1年 10a 当たり田 10,000 円 畑1,500 円で 公社が貸し付けるものであります。

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇に 田 1筆 3,014 m²を 期間4年 10a 当たり 13,000 円で 公社が貸し付けるものであります。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。議案17号のNo.1は、〇〇番 〇〇 〇 〇 農業委員が、議事参与の制限に該当しますので、それらを除いた案件を先に審議したいと思います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第17号のNo.1以外の案件について、「異議ない」旨回答することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第17号のNo.1以外の案件については、「異議ない」旨回答することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案17号のNo.1を審議しますので、〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の退席を求めます。

（〇〇 〇〇 農業委員 退席）

それでは審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第17号のNo.1の案件について、「異議ない」旨回答することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第17号のNo.1の案件については、「異議ない」旨回答することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員の出席を求めます。

（〇〇 〇〇 農業委員 出席）

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番 〇〇 〇〇 農業委員に報告します。

議案17号のNo.1の案件については、「異議ない」旨回答することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第18号「令和6年度最適化活動の目標設定について」を議題といたします

す。

事務局の説明を求めます。

○事務局（土屋 係長）

農業委員会等に関する法律の改正法が、平成28年4月に施行され、農業委員会において「農地利用の最適化の推進」が最も重要な必須事務として明確に位置付けられました。

これにより、平成29年8月に猪苗代町農業委員会の指針を策定し、また、一昨年7月の総会において、この指針の変更について審議をお願いした経過がございます。

今回は、その指針に基づき、令和6年度の最適化活動の目標を設定させていただきましたので、ご説明いたします。

19頁をご覧ください。

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積についてですが、令和6年3月の現状としては、管内農地面積3,210haに対し、農地利用集積面積が1,808haであり、56.3%の集積率となっております。

今後、令和11年3月までに80%の集積率を目指す必要があるため、令和6年度の新規集積面積を154haとし、集積面積の累計で1,962ha、年度末の集積率で61.1%を目指します。

次に(2)遊休農地の解消についてですが、令和6年3月の現状として、遊休農地面積が22.5ha、うち緑区分の遊休農地が8.9ha、また、黄区分の遊休農地が13.6haとなっております。

今後、令和3年度の緑区分遊休農地の解消で0.9ha、及び令和5年度の新規発生緑区分遊休農地の解消で13.6haの遊休農地の解消を目指します。

次に、20頁をご覧ください。

(3) 新規参入の促進についてですが、令和5年度の新規参入者は1経営体で、0.2haの実績がありました。

令和6年度は、更なる新規参入者の確保により、貸付等において28.5haの権利移動を目指します。

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数の目標としては、昨年度と同じく月10日の活動为目标としたいと思いますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、具体的な活動の取り組みにつきましては、今後皆さんと随時協議させて頂きながら、進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

○4番（高橋二三雄 委員）

20ページの集積率の確認ですが、3,200町歩あるうち1,800町歩56.3%が集積になっているとのことですが、これは農業者・経営体が連続して作業できる面積、団地化されているものということですか。

○事務局（渡部 主事）

まず、管内の農地面積ですが、町農林課が毎年集計している数値を使っており、分母である3,210haは昨年より20ha少なくなっています。分子にあたる数値は、「認定新規農業者、認定農業者、町が定める基本方針に該当する方」となっていますが、ほとんどが認定農業者となっています。農地の団地化が1,808haということではございません。

○議長（土屋勇雄 会長）

今ほど説明があったとおり、認定農業者をはじめとした該当する方に集まった面積が集積面積となります。

○4番（高橋二三雄 委員）

中核的な担い手が経営する面積ということでしょうか。

○事務局（渡部 主事）

そのようになります。

○4番（高橋二三雄 委員）

はい、了解しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

その他、質問、意見等ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、審議を打ち切り、採決を行います。

議案第18号について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。
挙手全員であります。

よって、議案第18号については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。
ありがとうございました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和6年 第4回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会いたします。
ご協力ありがとうございました。

（閉会時間：午後4時45分）

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 6年 4月19日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人